

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年6月27日 (2013.6.27)

【公開番号】特開2012-85866(P2012-85866A)

【公開日】平成24年5月10日 (2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2010-235731(P2010-235731)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/04 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0

A 6 1 B 1/04 3 7 2

G 0 2 B 23/24 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月9日 (2013.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プログラムを記憶するプロセッサ記憶部と、前記プロセッサ記憶部に対してプログラムを読み書きするプロセッサ制御部とを備えるプロセッサと、

プログラムを記憶するスコープ記憶部と、前記スコープ記憶部に対してプログラムを読み書きするスコープ制御部とを備えるスコープとを備え、

前記プロセッサ制御部は、外部から第 1 のプログラムを読み込んで前記プロセッサ記憶部に書き込み、かつ前記スコープ記憶部に記憶されている第 2 のプログラムを前記スコープ制御部を介して読み出して前記プロセッサ記憶部に書き込んだ後に、前記第 1 のプログラムを前記スコープ制御部に送信し、

前記スコープ制御部は、前記第 1 のプログラムを受信して前記スコープ記憶部に書き込み、そして前記スコープ記憶部に書き込まれている前記第 1 のプログラムを検査し、これによりエラーが見つかった場合には、前記プロセッサ制御部は、前記第 2 のプログラムを前記スコープ制御部に送信し、前記スコープ制御部は、前記第 2 のプログラムを受信して前記スコープ記憶部に書き込む内視鏡装置。

【請求項 2】

前記スコープ制御部は、前記スコープ記憶部に書き込まれている前記第 1 のプログラムを検査し、これによりエラーが見つからなかった場合には、前記プロセッサ制御部は、前記プロセッサ記憶部に記憶されている前記第 2 のプログラムを消去する請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 3】

前記プロセッサ制御部は、前記第 1 のプログラムを前記スコープ制御部に送信した後に、前記プロセッサ記憶部に記憶されている前記第 1 のプログラムを消去する請求項 1 又は 2 に記載の内視鏡装置。

【請求項 4】

前記プロセッサ記憶部は、第 1 の記憶部と第 2 の記憶部とを備え、前記第 1 の記憶部は

、外部から読み込まれた前記第 1 のプログラムを記憶し、前記第 2 の記憶部は、前記スコープ記憶部に記憶されている前記第 2 のプログラムを記憶する請求項 1 から 3 のいずれかに記載の内視鏡装置。

【請求項 5】

前記第 1 のプログラムは、バージョン情報及び対応するスコープの識別情報を有し、

前記プロセッサ制御部は、前記第 1 のプログラムの前記識別情報が前記スコープの識別情報と一致し、かつ前記第 1 のプログラムの前記バージョン情報が前記第 2 のプログラムのバージョン情報よりも新しい場合に、前記第 1 のプログラムを前記スコープ制御部に送信する請求項 1 から 4 のいずれかに記載の内視鏡装置。

【請求項 6】

前記第 1 のプログラムは、バージョン情報及び対応するスコープの識別情報を有し、

前記プロセッサ制御部は、前記第 1 のプログラムの前記識別情報が前記スコープの識別情報と一致し、かつ前記第 2 のプログラムの前記バージョン情報が前記第 1 のプログラムのバージョン情報よりも新しい場合に、前記スコープ記憶部に記憶されている第 2 のプログラムを前記スコープ制御部を介して読み出して前記プロセッサ記憶部に書き込む請求項 1 から 5 のいずれかに記載の内視鏡装置。

【請求項 7】

プログラムを記憶するプロセッサ記憶部と、前記プロセッサ記憶部に対してプログラムを読み書きするプロセッサ制御部とを有するプロセッサと、プログラムを記憶するスコープ記憶部と、前記スコープ記憶部に対してプログラムを読み書きするスコープ制御部とを有するスコープとを備える内視鏡装置の制御方法であって、

前記プロセッサ制御部が、外部から第 1 のプログラムを読み込んで前記プロセッサ記憶部に書き込み、かつ前記スコープ記憶部に記憶されている第 2 のプログラムを前記スコープ制御部を介して読み出して前記プロセッサ記憶部に書き込むステップと、

前記スコープ制御部が、前記第 1 のプログラムを前記スコープ記憶部に書き込むステップと、

前記スコープ制御部が、前記スコープ記憶部に書き込まれている前記第 1 のプログラムを検査するステップと、

前記検査するステップにおいて前記第 1 のプログラムにエラーが見つからなかった場合に、前記プロセッサ制御部が、前記プロセッサ記憶部に記憶されている前記第 2 のプログラムを消去するステップと、

前記検査するステップにおいて前記第 1 のプログラムにエラーが見つかった場合に、前記スコープ制御部が、前記第 2 のプログラムを前記スコープ記憶部に書き込むステップと

、

前記プロセッサ制御部が、前記プロセッサ記憶部に記憶されている前記第 1 のプログラムを消去するステップとを備える内視鏡装置の制御方法。

【請求項 8】

前記第 1 のプログラムはバージョン情報及び対応するスコープの識別情報を有し、

前記第 1 のプログラムの前記識別情報が前記スコープの識別情報と一致し、かつ前記第 2 のプログラムの前記バージョン情報が前記第 1 のプログラムのバージョン情報よりも新しい場合に、前記プロセッサ制御部が、前記スコープ記憶部に記憶されている第 2 のプログラムを前記スコープ制御部を介して読み出して前記プロセッサ記憶部に書き込むステップとをさらに備える請求項 7 に記載の内視鏡装置の制御方法。